

令和6年能登半島地震に伴う事故車申立 記載例

都税総合事務センター処理欄

Table with columns: 課長, 課長代理, 担当. Includes a vertical label '確認欄' on the left.

都税事務所(支所)、自動車税事務所処理欄

Table with columns: 受付事務所, 担当. Includes a sub-row for '受付番号'.

事故車申立書

東京都都税総合事務センター所長 殿 (提出先)

申立書の記入日を記入してください。

次のとおり申立てします。

申立年月日 令和 6 年 5 月 10 日

※太枠内のみ記入してください。

Main application form with sections: 申立人, 納税義務者, 自動車の状況, 登録番号, 車台番号, 申立理由, 盗難被害, (注)解体業者.

申立人と納税義務者が同じ場合は、納税義務者の住所・氏名は「同上」と記入してください。

「その他」に○をしてくだ

「能登半島地震に被災」と記入してください。

能登半島地震によって被災自動車はどこで、どのような被害にあったため運行不能の状態になったかをできるだけ具体的に記入してください。

記入不要です。

都税総合事務センター処理欄

Summary table with columns: 取消(減額)理由, 課税取消(減額)予定額, 年度, 当初課税額, 取消(減額)後, 減差額, 調査内容及び処理てん末, 入力日.